



多重債務とは



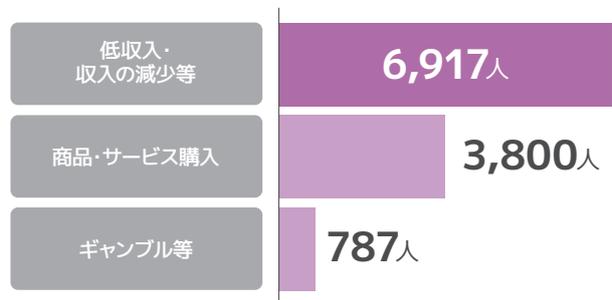
多重債務とは

>>>
資49
A-E

複数の業者から借金をしていて、返済が困難になっている状況を多重債務といいます。多重債務という、お金にだらしがない人が陥るイメージがあるかもしれませんが。

しかし、多重債務相談者が借金をしたきっかけでもっとも多いのは、低収入や収入の減少により、生活費や教育費などを補うためであることが明らかになっています。すべてのケースにあてはまるわけではありませんが、生活費の不足分を借入る前に、家計を改善することから始めましょう。

多重債務相談者が借金をしたきっかけ



※複数回答。
出典：多重債務問題及び消費者向け金融等に関する懇談会 第15回 資料1
「3. 地方自治体に寄せられた『多重債務』に関する相談の概況(1)」
(首相官邸ホームページ)<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/saimu/kondankai/dai15/siryou1-1.pdf>を加工して作成

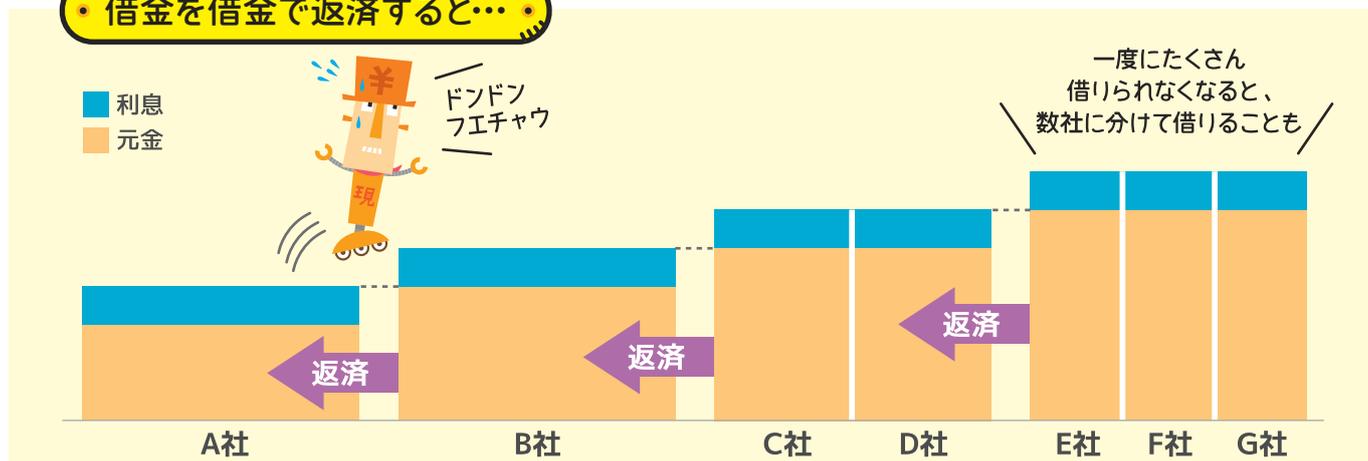


生活費不足の借入れはもっとも危険なパターン

多重債務に陥るメカニズム

目の前の借金を返せず、ほかから借り入れた借金で返済する状態こそが多重債務に陥るメカニズムです。この状態になると、借金額はどんどん雪だるま式に増える一方となってしまいます。

借金を借金で返済すると…



ローンやクレジットの利用状況は記録されている

ローンやクレジットを利用する際、銀行やクレジット会社などは申込者の信用状況を調査します。「個人信用情報機関」には、自社だけではなく、他社の借入れ情報や返済が滞った履歴がないかも記録されています。多額の貸出を防いだり、利用者が多重債務に陥ったりしないように保護するためにも、なくてはならない仕組みなのです。

全部分かるんだ！



記録されるんですよ

個人信用情報機関



>>>
資50
A-B

総量規制ってなに？

総量規制とは、返済能力を超える多額の借金を防ぐために、2010年に導入されたルールです。このルールにより、個人が利用する借入れは年収の3分の1に制限されました。ただし住宅ローンなど、規制の対象外のものもあります。

年収の3分の1に制限されます



借金を借金で返すのが、多重債務に陥るメカニズム



消費者被害に巻き込まれないために

消費者被害って、どんなもの？

消費者被害は、あなたの身近でもたくさん起こっています。パソコンで詐欺サイトに誘導されて個人情報盗まれて悪用されたり、ウソの投資話にだまされて、大切な預金を失ったりする人もいます。

1年間で消費者被害・トラブルを経験した人の割合
約9人に1人(11.2%)

消費者被害・トラブル額
(既支払額[信用供与を含む]※)
約5.1兆円

※既支払額[信用供与を含む]とは、すでに支払った金額にクレジットカード等による将来の支払いを加えたもの。
出典：消費者庁「令和2年版消費者白書」

！ 実際にあるこんなトラブル

>>>
751

1 詐欺サイトでのショッピング

ブランド品などが買えるサイトで商品を注文した後、代金を支払ったのに品物が届かなかったり、届いても粗悪品(コピー商品)だったりする詐欺です。驚くほど安い商品が販売されていたり、前払いを要求されたり、クレジットカード決済ができないなど、注文の時点でおかしいと思ったら、利用しないように気を付けましょう。

！ 値段が安すぎる時は「詐欺かも」と疑おう



2 プリペイド購入詐欺

オンラインゲームなどの利用料金を請求され、その支払い手段としてプリペイドカードの購入を指示されます。購入したプリペイドカードに記載されている番号の情報などを電話で伝えたり、写真を撮ってメールで送信したりすると、利用可能額がすべて他人によって使われてしまいます。

！ プリペイドカードの情報は気軽に教えない

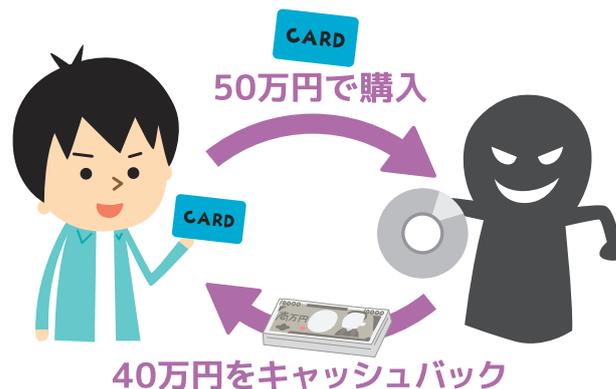
3

クレジットカードの
ショッピング枠現金化

手元に現金がなく困っている人に対して、クレジットカードでほとんど価値のないものを法外な価格で購入させ、その代金の何割かをキャッシュバックするというものです。現金はすぐに手に入りますが、後日、クレジットカード会社に購入代金の全額を支払わなければならない、キャッシュバックの際に差し引かれた金額分を損することになってしまいます。



クレジットカードを利用した現金化の誘いに注意



4

架空料金請求詐欺

身に覚えのないサイトの利用料請求などがショートメッセージや電子メールで届いたり、「支払わなければ取り立てに行く」といった不安をあおるような文面をブラウザの画面に表示して支払いを要求する詐欺です。どのような脅迫文でも、絶対に連絡をせず、おかしいと思う連絡は無視しましょう。



不安になっても、身に覚えのない請求は無視しよう



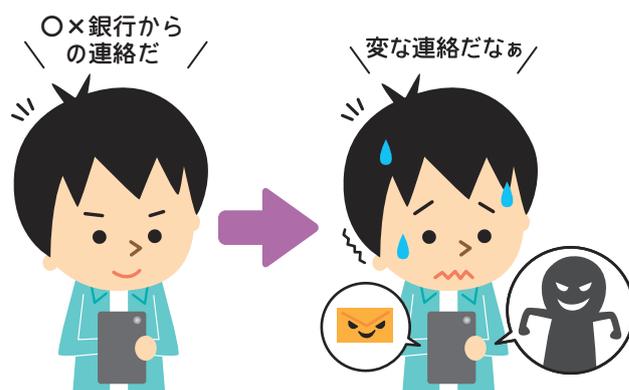
5

フィッシング詐欺

実在する会社を装ったショートメッセージや電子メールからニセのサイトに誘導するものです。個人情報を入力してしまうと、犯人に情報を盗まれ、悪用されてしまいます。また、悪質業者に個人情報が回ることもあるので、確実に信用できる機関からのショートメッセージやメール以外は、アクセスしないようにしましょう。

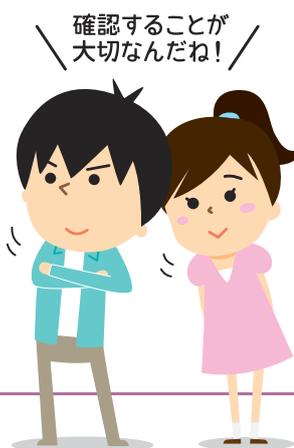


ニセのサイトへ誘導されないよう、クリックは慎重に



不審な点を見つけたら
いつも以上に注意しよう！
銀行のウェブサイトをお気に入り登録しておくことが対策になるよ

取引銀行が提供するアプリから操作することも有用だよ



確認することが大切なんだね！

ウマイ話ハ要注意〜！



もしものときの対応策

>>>
753

もしもキャッシュカードやクレジットカードをなくしてしまったときは…？
そんな「もしも」のときに対応する方法を覚えておきましょう。

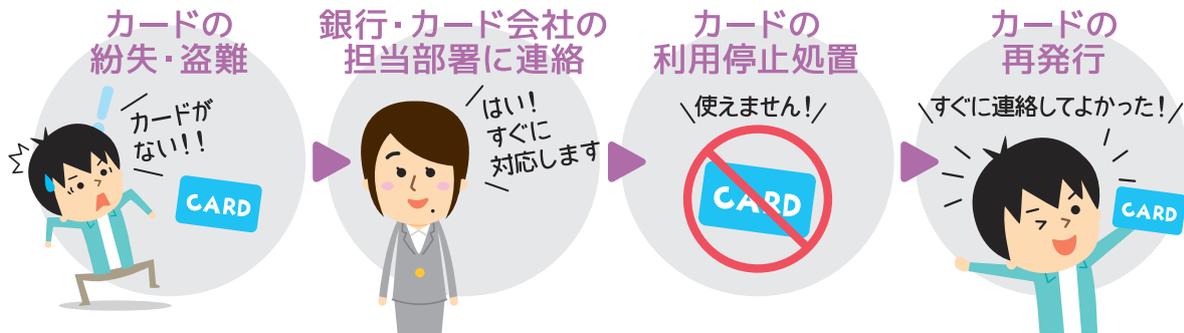
カードを紛失したら、どうする？

キャッシュカード・クレジットカードをなくした場合は、すぐに銀行・カード会社の紛失係に電話しましょう。カードの利用を停止してもらえば、第三者に取得されても、その第三者はカードでの不正使用はできません。紛失などの電話は24時間受け付けてもらえます。

カードを盗まれたら、どうする？

カードを万が一盗まれたら、銀行・カード会社の紛失係にすぐ連絡をしたうえで、警察にも盗難届を出しましょう。盗難届を出しておけば、盗んだ人に不正使用されたとしても、原則として金額は請求されません。

気付いたら速やかに対応しよう



※利用者のカード管理に過失がある場合は、利用者の負担が生じる場合があります。
※再発行には手数料がかかる場合があります。

困ったときは相談しよう

困ったときや、対応に悩んでいるときは、各機関の相談窓口にお問い合わせください。

銀行についての相談

全国銀行協会相談室

TEL 0570-017109
03-5252-3772 (IP電話からの場合)

消費者被害についての相談

消費者ホットライン

TEL 188 (消費生活相談窓口の御案内)

法律についての相談

法テラス

TEL 0570-078374 (サポートダイヤル)

！ 万が一、返済が難しくなったら

すぐに相談をしよう！

返済が難しくなってきたときは >> 万が一、返済が難しくなったら、早めに家族や公共性の高い相談機関に相談しましょう。

家族



相談機関



相談機関の例
 ・全国銀行協会相談室
 ・日本クレジット
 カウンセリング協会
 ・消費生活センター

多重債務になってしまったときは >> 多重債務状態になると、自分の力で解決することは難しいので、第三者のアドバイスを取り入れ、解決策を探すことが大切です。

○ 借金を返せないときの解決方法

債務整理の種類	内容	かかわる人
任意整理	債務者またはその代理人と債権者で話し合いをして、今後の返済計画を決めること	債務者(お金を借りた人) 債権者(お金を貸した人・業者など) 弁護士・司法書士など
特定調停	裁判所で債務者と債権者が「調停」という話し合いを行って、返済方法を見直す手続き	債務者(お金を借りた人) 債権者(お金を貸した人・業者など) 弁護士・司法書士など 裁判所
個人再生手続	法律で決められたとおりの手順にしたがって、債務者の債務と財産をすべて調査し、今後の支払い計画を立てる手続き	

自己破産とは？

支払い不能になる可能性の高い人が、裁判所に対して、「破産手続き開始の決定」を下してもらえるように申請する方法です。自己破産の決定がなされた後、免責の手続きが認められれば、借金の返済を免れます。ただし、自宅のように換金性のある財産は手放さなければなりません。



>>> 資
54



返済が難しくなっても解決の道はある